

## 第3章 自転車の利用ニーズ調査

---

### 3-1 アンケート調査概要

---

#### 3-1-1 調査の目的

うるま市の自転車利用ニーズ把握を目的として、うるま市民及びうるま市職員へアンケート調査を実施した。

#### 3-1-2 調査概要

アンケートは市内全域を対象として2,000世帯へ配布した。アンケート対象者は幅広い年齢層からの意見募集を考慮し中学生以上とした。

また、アンケート内容は自転車利用者のみならず非利用者の意見を把握するため、以下の設問を設定した。

- 個人属性や日常の交通動向
- 自転車の利用実態
- 自転車利用のルールの認知度
- 今後の自転車利用促進のニーズ

#### 3-1-3 調査票類

アンケート調査においては、以下の調査票類を配布した。

なお、アンケート調査票類の配布及び回収は郵送により行った。

- 調査票
- 送付用封筒
- 返信用封筒

### 3-1-4 回収状況

うるま市民及び市職員へアンケートを配布した。市民に対しては2,000世帯に配布し401票（回収率：20.1%）回収し、市職員からは448票（配布数：1021人 回収率43.8%）回収している。

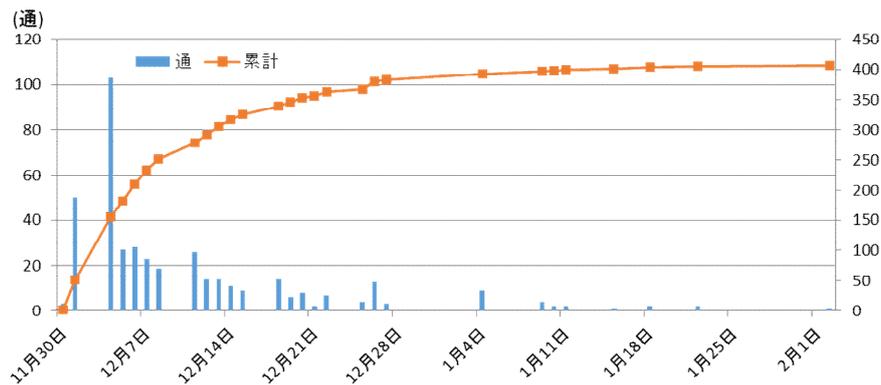


図 3-1 市民アンケート回収状況

## 3-2 市民アンケート調査結果

### うるま市の自転車利用のあり方に関する市民アンケート調査（単純集計）

配布数 2000 枚に対し 1 月 17 日（水）現在 401 枚回収（無効票 1：無記入、戻り票 1 除く）

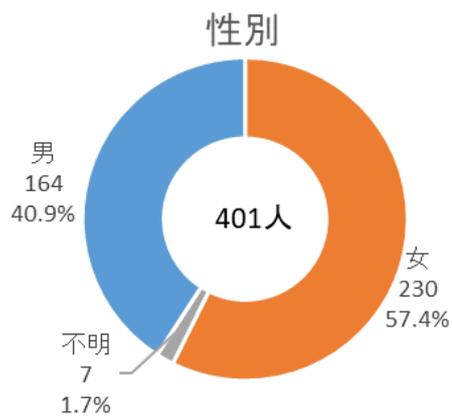
■回収率：約 20%

問 1. あなたについて教えてください。（当てはまるものを選択してください）

①あなたの性別を教えてください。

⇒回答 401 人の内、半数の 57.4%（230 人）が女性で、男性は 40.9%（164 人）であった。

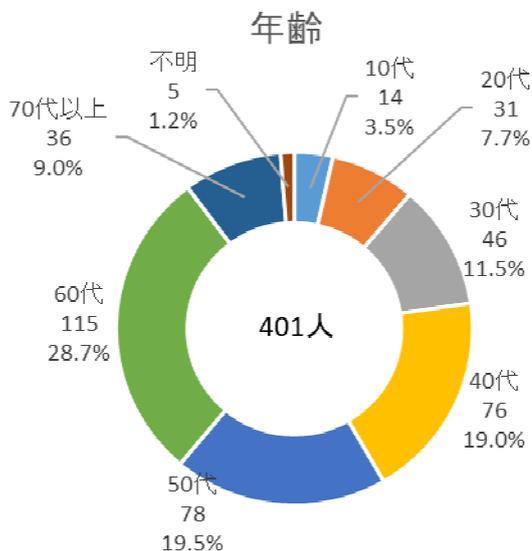
問1性別	
男	164
女	230
不明	7
合計	401



②あなたの年齢を教えてください。

⇒最も多い年代は60代の28.7%（115人）、次いで50代19.5%（78人）、40代19%（76人）となり、最も少ないのが10代の3.5%（14人）となっている。

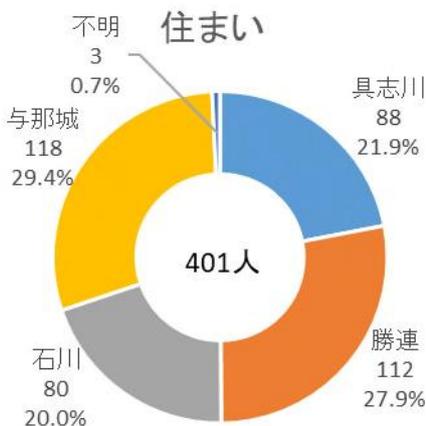
問1年齢	
10代	14
20代	31
30代	46
40代	76
50代	78
60代	115
70代以上	36
不明	5
合計	401



③あなたのお住まいを教えてください。

⇒回収数に対しての割合は与那城地域が最も多く29.4%（118人）、次いで勝連地域の27.9%（112人）。但し、配布数は具志川（回答88人）、石川地域（回答80人）が各400枚に対し勝連、与那城地域は600枚配布している。

問1住まい	
具志川	88
勝連	112
石川	80
与那城	118
不明	3
合計	401

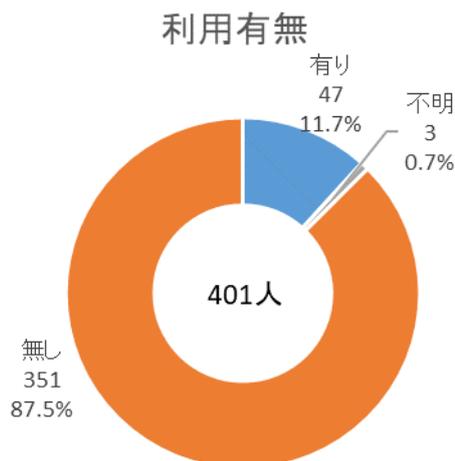


問2. どのような目的で自転車に乗っていますか？

① あなたは自転車を利用していますか？

⇒日頃自転車を利用すると回答したのは、11.7%（47人）であった。

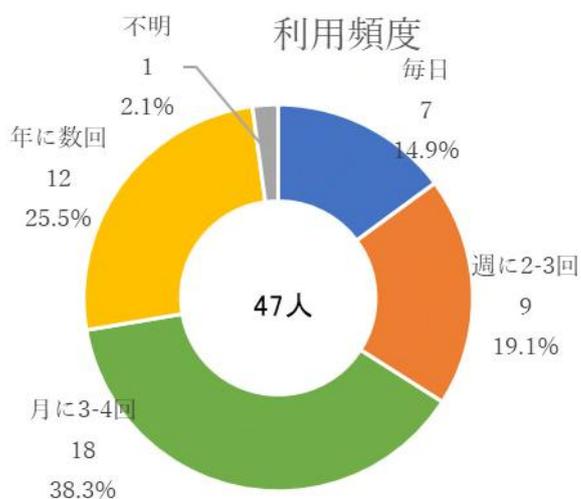
問2利用有無	
有り	47
無し	351
不明	3
合計	401



②自転車を利用する頻度を教えてください。

⇒自転車を利用すると回答した47人のうち、毎日と回答したのは約14.9%（7人）で、最も多い回答は「月に3-4回」の38.3%（18人）であった。

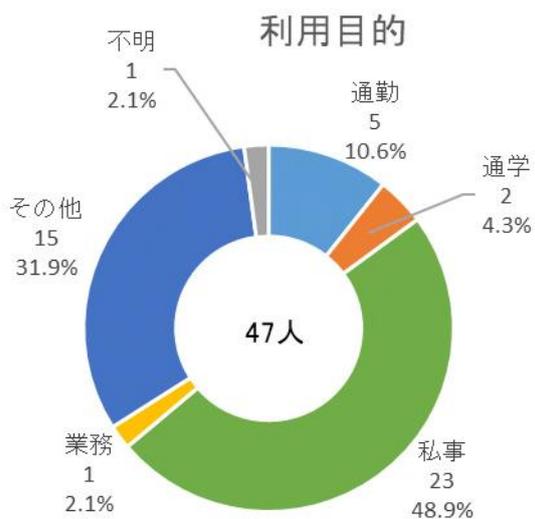
問2利用頻度	
毎日	7
週に2-3回	9
月に3-4回	18
年に数回	12
不明	1
合計	47



③自転車の利用目的（移動目的）を教えてください。

⇒利用目的は「私事」が最も多い48.9%（23人）、次いで31.9%（15人）のその他となった。その他の意見として、「サイクリング」や「運動」「近所への移動」があった。

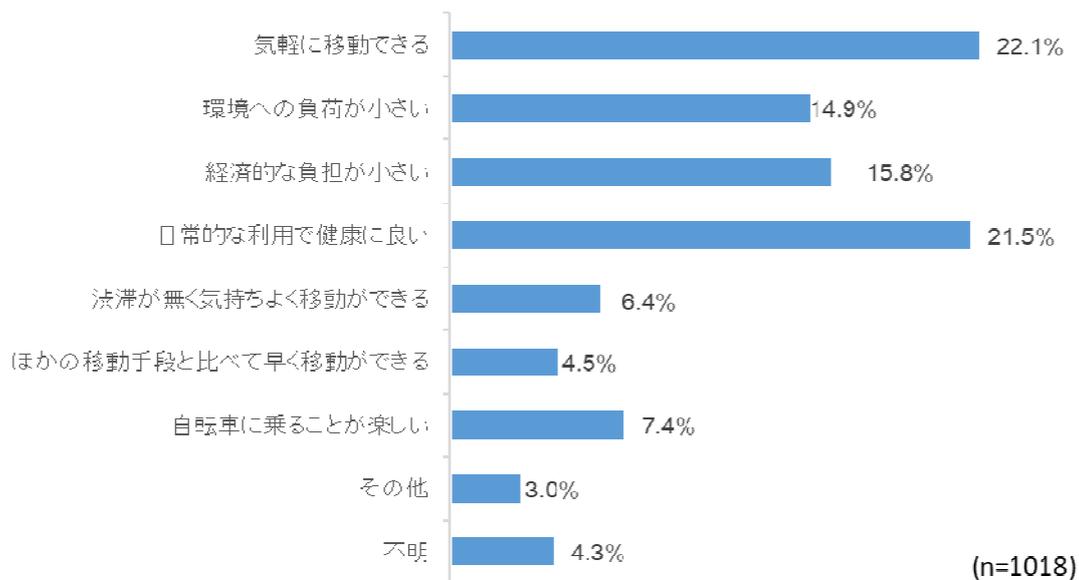
問2利用目的	
通勤	5
通学	2
私事	23
業務	1
その他	15
不明	1
合計	47



問 3. 自転車を利用するメリットを教えてください。（複数回答）

⇒自転車を利用するメリットについて、一番多い回答が 22.1%（225 人）の「気軽に移動できる」で、次いで「日常的な利用で健康に良い」が 21.5%（219 人）であった。その他の意見では、「駐車場の心配がない」「車の免許がない」「友達との交流」などがあつた。

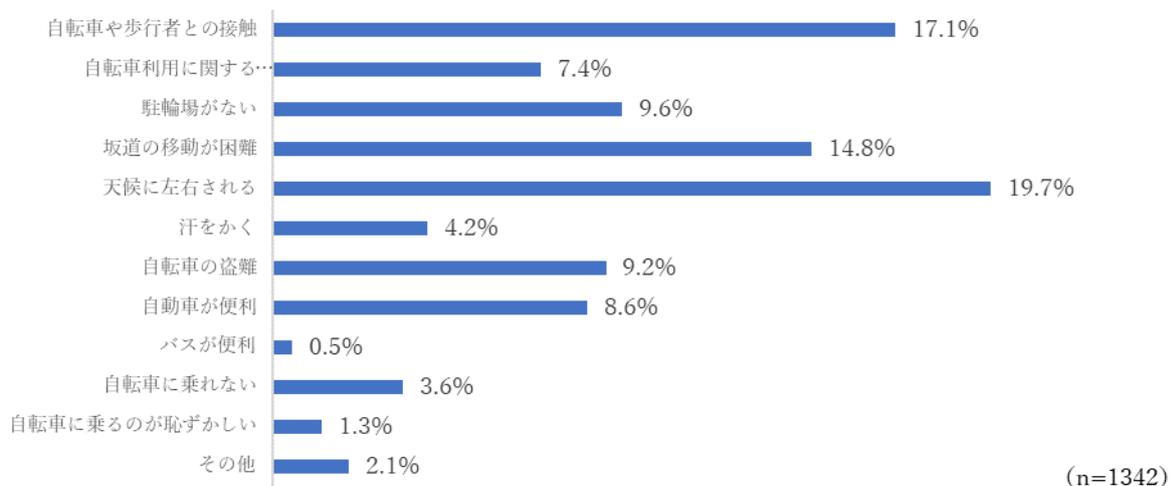
問3 メリット	気軽に移動できる	環境への負荷が 小さい	経済的な負担が 小さい	日常的な利用で 健康に良い	渋滞が無く気持ちよく 移動ができる
	225	152	161	219	65
	ほかの移動手段と比べて早く移動ができる	自転車に乗ることが楽しい	その他	不明	合計
	46	75	31	44	1018



問4. 自転車を利用するデメリットを教えてください。（複数回答）

⇒デメリットについては、「天候に左右されやすい」が最も多く19.7%（265人）、次いで17.1%（230人）の「自動車や歩行者との接触」となった。その他の意見として、「自転車道が整備されていない」「買い物には適さない」などがあつた。

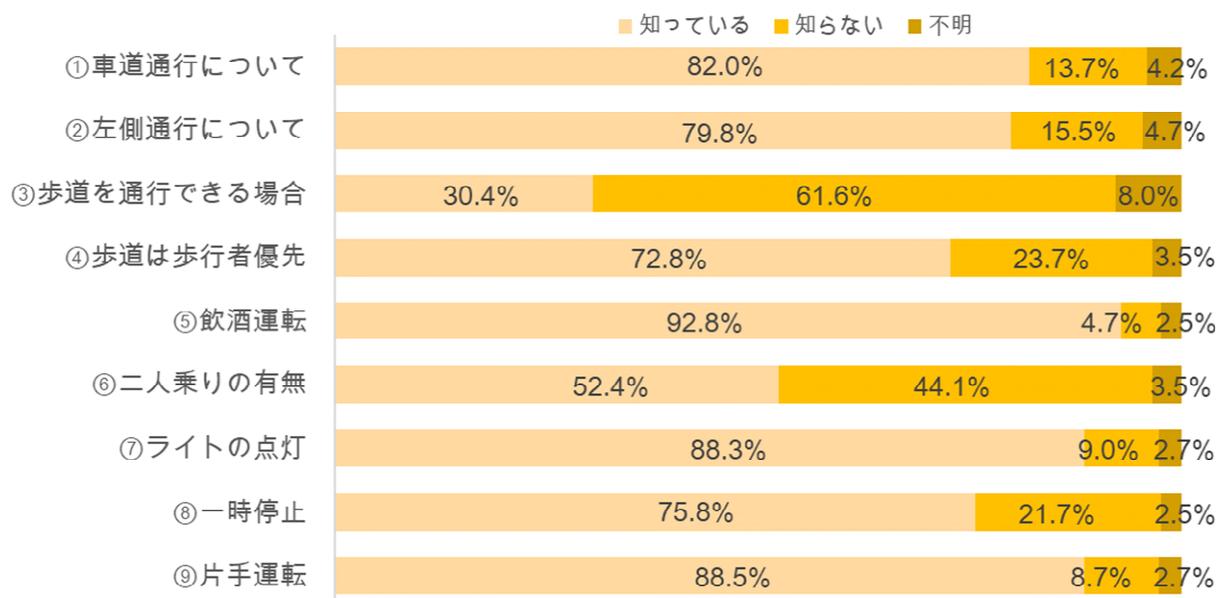
問4 デメリット	自動車や歩行者との接触	自転車利用に関する交通ルールが分からない	駐輪場がない	坂道の移動が困難	天候に左右されやすい
	230	99	129	199	265
	汗をかく	自転車の盗難	自動車が便利	バスが便利	自転車に乗れない
	57	123	116	7	48
	自転車に乗るのが恥ずかしい	その他	不明	合計	
	18	28	23	1342	



問5. 自転車の利用ルールについて、ご存じのルールをすべて選んでください。

⇒自転車の利用ルールについて、ほぼ半数以上は「知っている」と回答したが、61.6%（250人）が「知らない」と回答したのは「③歩道を通行できる場合について」であった。

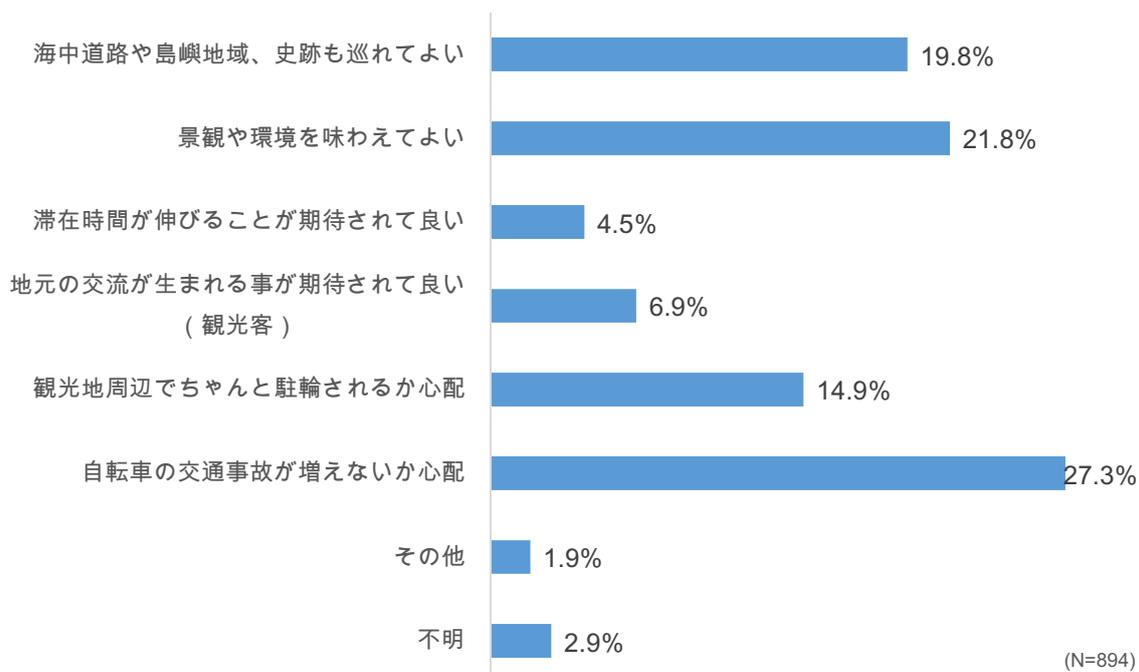
問5ルール	知っている	知らない	不明	合計	問5ルール	知っている	知らない	不明	合計
①	333	56	17	406	②	324	63	19	406
③	124	250	32	406	④	295	97	14	406
⑤	377	19	10	406	⑥	213	179	14	406
⑦	359	36	11	406	⑧	307	89	10	406
⑨	359	36	11	406					



問 6. 観光における自転車の利用についてどのようにお考えですか？（複数回答）

⇒観光における自転車の利用についての考えで最も多かったのが、「自転車の交通事故が増えないか心配」で27.3%（244人）となった。その他の意見として、「ルールを守ればよい」「バンクやメカトラブル等の即応性」「渋滞緩和が期待できる」「外国人のマナーとあうか心配」等があがった。

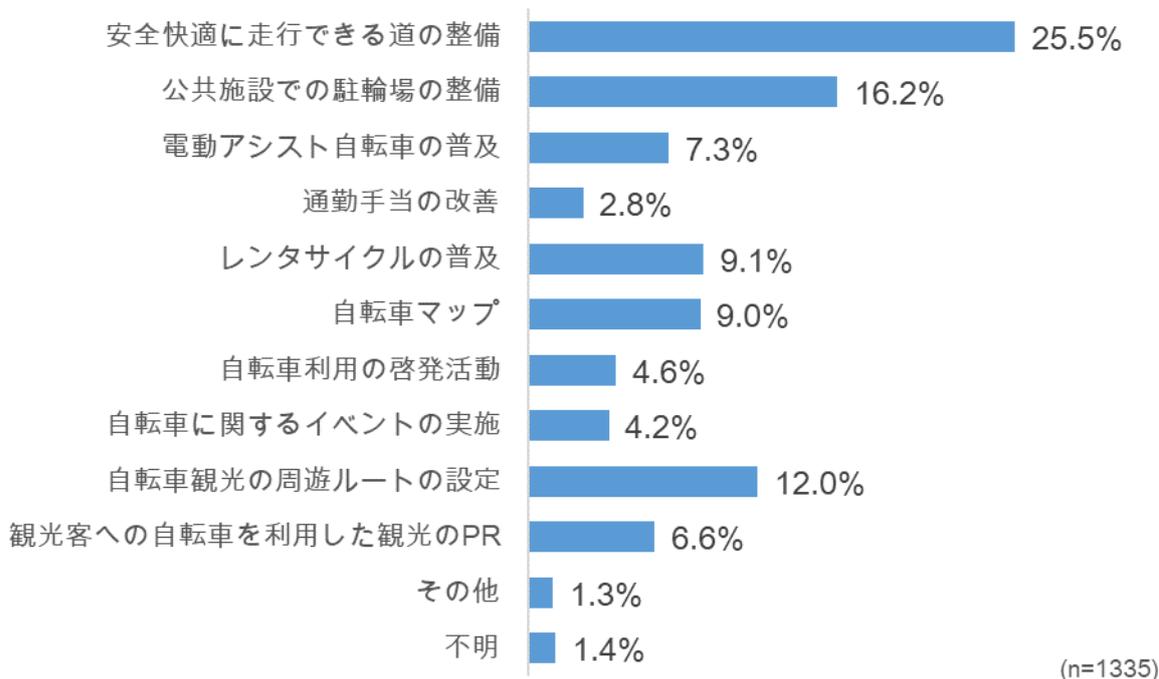
問6観光における自転車利用	海中道路や島嶼地域、史跡も巡れてよい	景観や環境を味わえてよい	滞在時間が伸びることが期待されて良い	地元の交流が生まれる事が期待されて良い(観光客)	観光地周辺でちゃんと駐輪されるか心配	自転車の交通事故が増えないか心配	その他	不明	合計
	177	195	40	62	133	244	17	26	894



問7. うるま市において自転車の利用を促進するために必要な取り組みを教えてください。  
 (複数回答)

⇒うるま市においての必要な取り組みについて尋ねたところ、最も多かったのが、「安全快適に走行できる道の整備」で25.5%（340人）となり、次いで「公共施設での駐輪場の整備」で16.2%（216人）となった。その他の意見として、「電動アシスト購入時の補助」「自転車保険」「ルールについての講習会」などがあった。

問7必要な取り組み	安全快適に走行できる道の整備	公共施設での駐輪場の整備	電動アシスト自転車の普及	通勤手当の改善	レンタサイクルの普及	自転車マップ	
	340	216	98	38	122	120	
	自転車利用の啓発活動	自転車に関するイベントの実施	自転車観光の周遊ルートの設定	観光客への自転車を利用した観光のPR	その他	不明	合計
	61	56	160	88	17	19	1335



### 3-3 市職員アンケート調査結果

#### うるま市の自転車利用のあり方に関する庁内アンケート調査（単純集計）

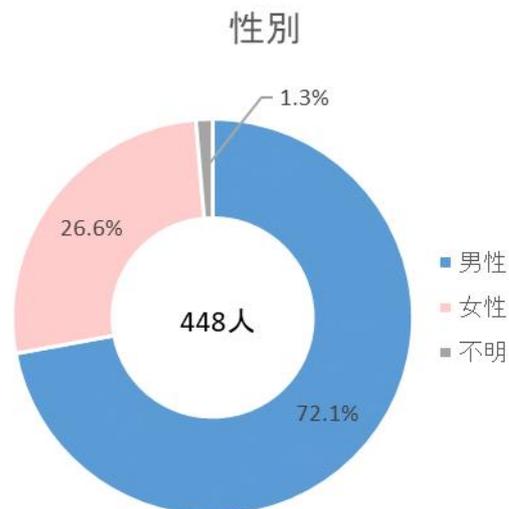
回答数 448／1021 （■回収率 44%）

問 1. あなたについて教えてください。（当てはまるものを選択してください）

① あなたの性別を教えてください。

回答者の内、72.1% (323 人) が男性で、女性は 26.6% (119 人) であった。

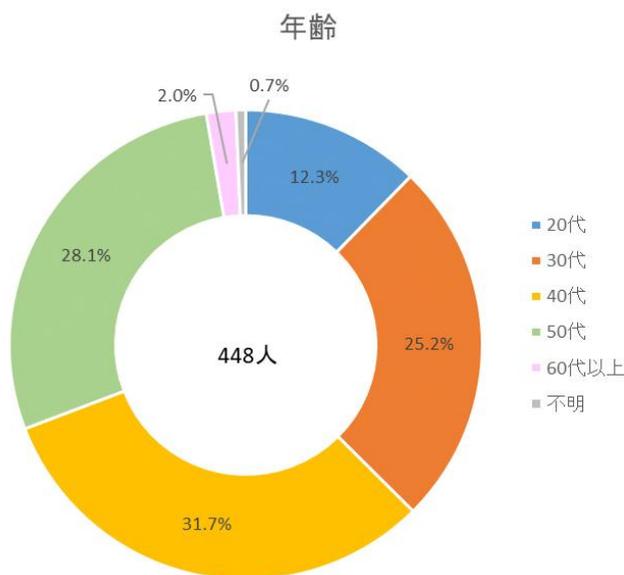
性別	人数
男性	323
女性	119
不明	6
総計	448



② あなたの年齢を教えてください。

最も多い年代は40代の31.7%(142人)、次いで50代28.1%(126人)、30代25.2%(113人)となり、最も少ないのが60代以上の2.0%(9人)となっている。

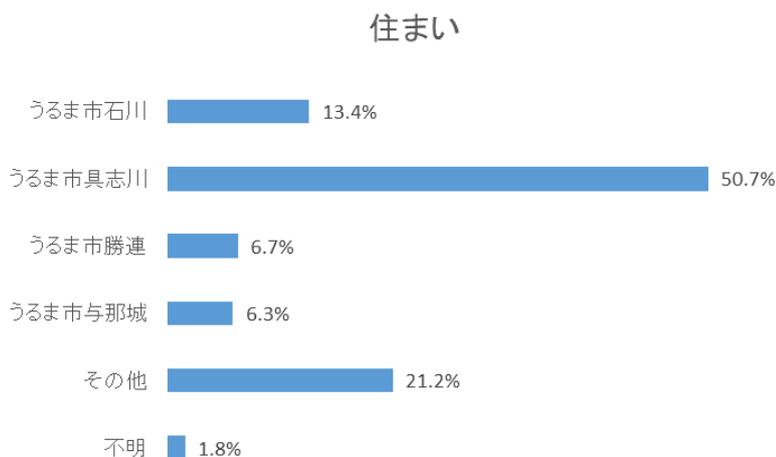
年齢	人数
20代	55
30代	113
40代	142
50代	126
60代以上	9
不明	3
総計	448



③ あなたの住まいを教えてください。

うるま市具志川が50.7%(227人)と最も多く、次点でうるま市石川が13.4%(60人)であった。

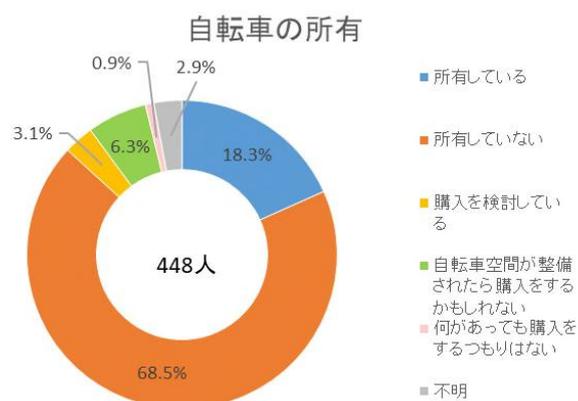
住まい	人数
うるま市石川	60
うるま市具志川	227
うるま市勝連	30
うるま市与那城	28
その他	95
不明	8
総計	448



④ ご自身の自転車を所有していますか？

自転車の所有状況については、「所有していない」と回答した人が最も多く 68.5% (307 人) で、それに対し「所有している」と回答した人は 18.3% (82 人) であった。

自転車の所有	人数
所有している	82
所有していない	307
購入を検討している	14
自転車空間が整備されたら購入をするかもしれない	28
何があっても購入をするつもりはない	4
不明	13
総計	448

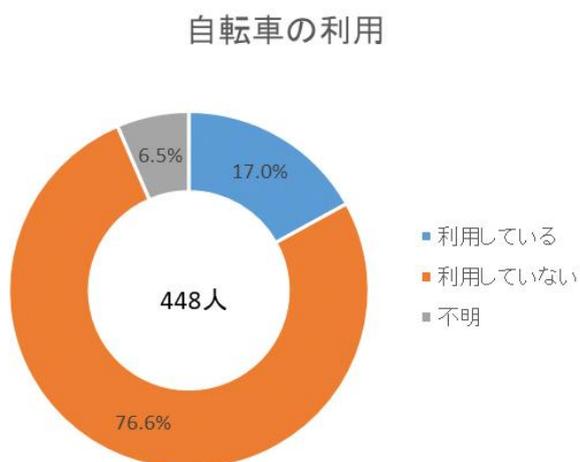


問 2. どのような目的で自転車に乗っていますか？

① あなたは自転車を利用していますか？

自転車を利用すると回答したのは、17.0% (76 人) であった。

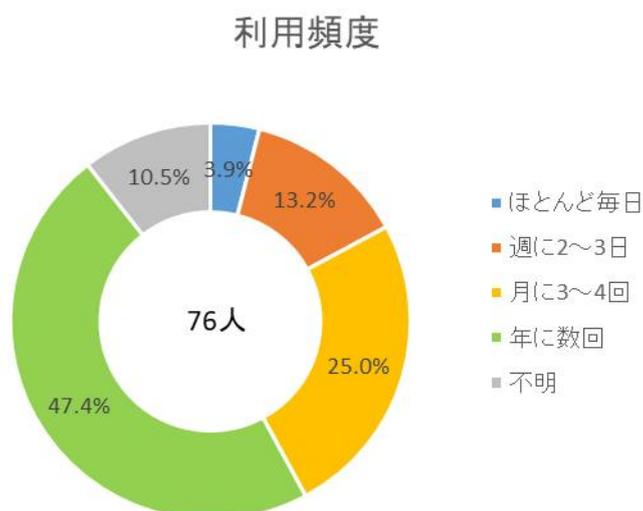
問2①	人数
利用している	76
利用していない	343
不明	29
総計	448



② 自転車を利用する頻度を教えてください。

自転車を利用すると答えた人の47.4%(36人)は「年に数回」であった。  
最も少ない回答は「ほとんど毎日」の3.9%(3人)であった。

問2②	人数
ほとんど毎日	3
週に2～3日	10
月に3～4回	19
年に数回	36
不明	8
総計	76

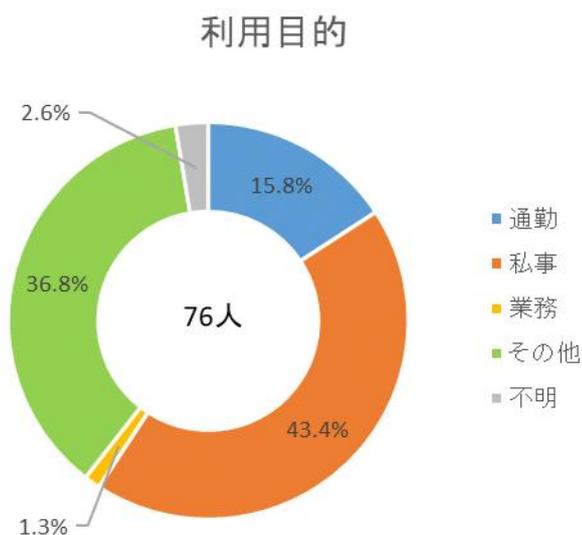


③ 自転車の利用目的(移動目的)を教えてください。

利用目的については「私事」が43.4%(33人)となり最も多い。

その他意見では、「トレーニング(ロードレース)」や「サイクリング」など「趣味」が15人、「健康目的」が5人、「子供とのスキンシップ」に利用していると回答した人が3人いた。

問2③	人数
通勤	12
私事	33
業務	1
その他	28
不明	2
総計	76

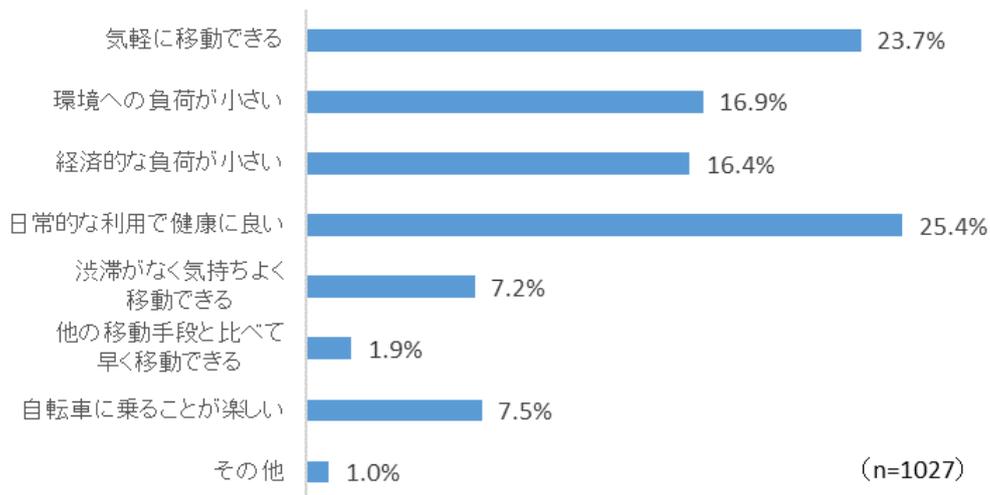


問3. 自転車を利用するメリットを教えてください。（複数回答）

自転車を利用するメリットについて、一番多い回答が25.4%(261人)の「日常的な利用で健康に良い」で、次いで「気軽に移動できる」が23.7%(243人)であった。その他の意見では、「駐輪が容易である」「車では入れない道も行ける」「ファッション性がある」などがあった。

問3自転車利用のメリット	気軽に移動できる	環境への負荷が小さい	経済的な負荷が小さい	日常的な利用で健康に良い	渋滞がなく気持ちよく移動できる	他の移動手段と比べて早く移動できる	自転車に乗ることが楽しい	その他	合計
	243	174	168	261	74	20	77	10	1027

自転車を利用するメリット

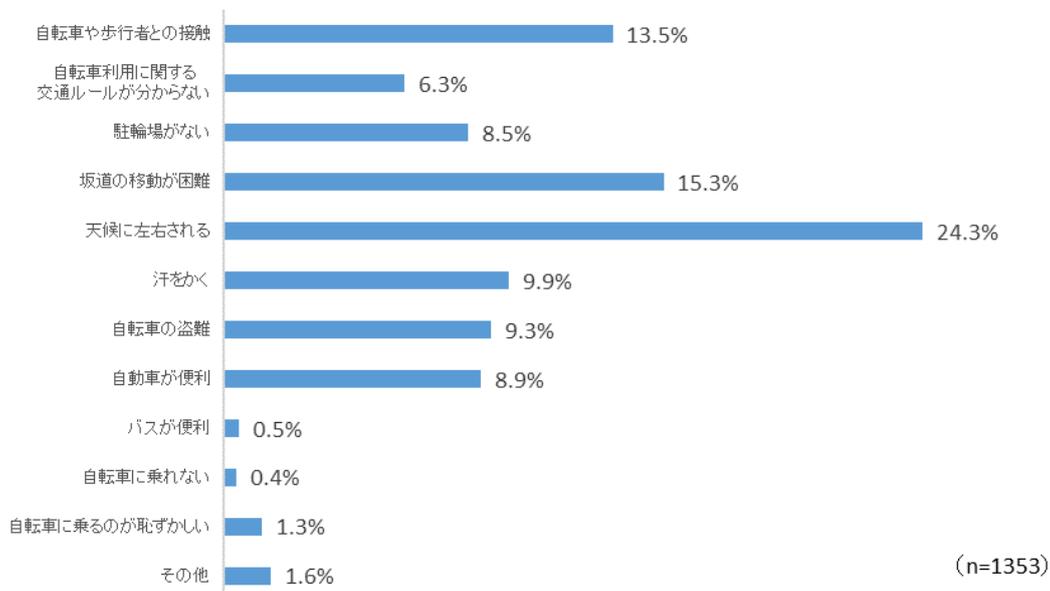


問 4. 自転車を利用するデメリットを教えてください。（複数回答）

デメリットについては、「天候に左右されやすい」が最も多く 24.3% (329 人)、次いで 15.3% (207 人) の「坂道の移動が困難」となった。その他の意見として、「維持管理が難しい」や「自転車の走行に適した道路が少ない」などの意見があった。

問4自転車利用のデメリット	自転車や歩行者との接触	自転車利用に関する交通ルールが分からない	駐輪場がない	坂道の移動が困難	天候に左右される	汗をかく	
	183	85	115	207	329	134	
	自転車の盗難	自動車が便利	バスが便利	自転車に乗れない	自転車に乗るのが恥ずかしい	その他	合計
	126	121	7	6	18	22	1353

### 自転車を利用するデメリット

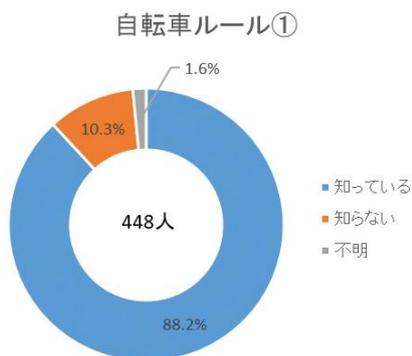


問 5. 自転車の利用ルールについて、ご存じのルールをすべて選んでください。

自転車の利用ルールについて、どの設問もほぼ半数以上は「知っている」と回答したが、「③歩道を通行できる場合について」と「⑥16歳以上の者が6歳未満の幼児一人を幼児座席に乗せる場合を除き、二人乗りをしてはならない。」ではそれぞれ知らない（③68.3%（306人）、⑥59.2%（265人））と回答した。

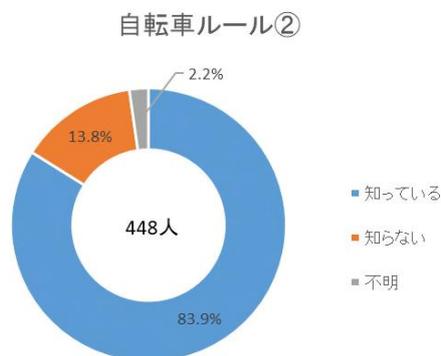
① 車道通行が原則で有り、歩道通行は例外である。

①	人数
知っている	395
知らない	46
不明	7
総計	448



② 車道は左側を通行しなければならない。

②	人数
知っている	376
知らない	62
不明	10
総計	448



③ 歩道を通行できるのは、下記の場合だけである。

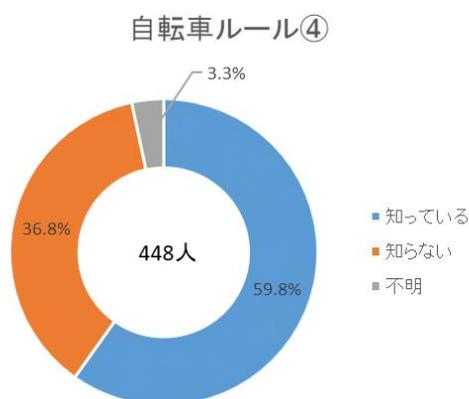
- (1) 歩道に「自転車通行可」や「普通自転車通行指定部分」の道路標識や、道路標示がある場合
- (2) 運転者が13歳未満又は70歳以上、または身体の障害を有する者である場合。
- (3) 歩道を通行することが「やむを得ない」と認められる場合

③	人数
知っている	131
知らない	306
不明	11
総計	448



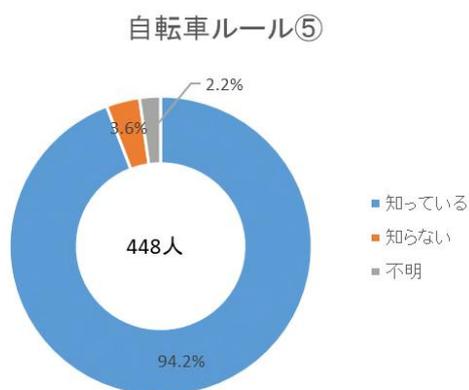
④ 歩道は歩行者優先で車道寄りを徐行等しなければならない。

④	人数
知っている	268
知らない	165
不明	15
総計	448



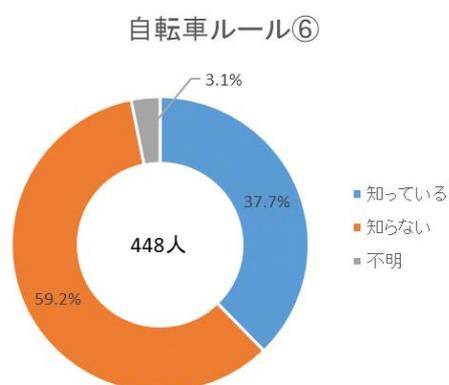
⑤ 飲酒運転をしてはならない。

⑤	人数
知っている	422
知らない	16
不明	10
総計	448



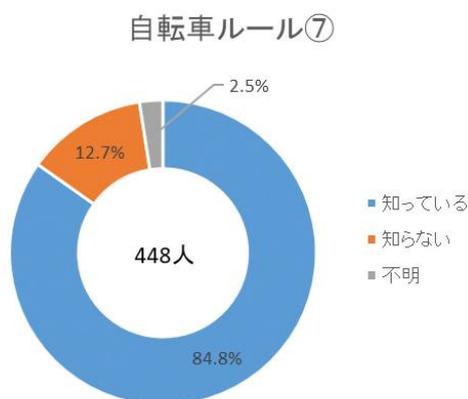
⑥ 16歳以上の者が6歳未満の幼児一人を幼児座席に乗せる場合を除き、二人乗りをしてはならない。

⑥	人数
知っている	169
知らない	265
不明	14
総計	448



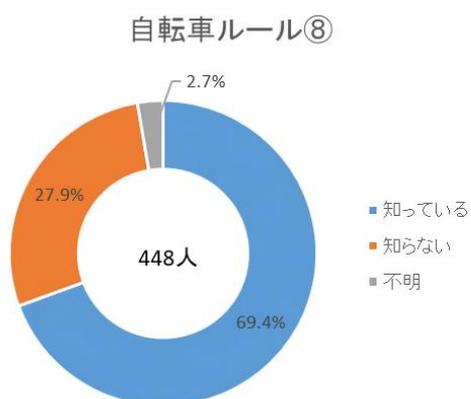
⑦ 夜間はライト点灯しなければならない。

⑦	人数
知っている	380
知らない	57
不明	11
総計	448



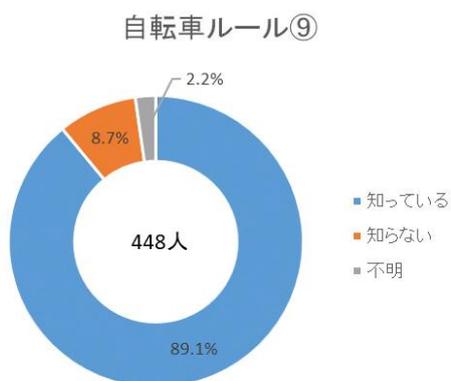
⑧ 一時停止の標識のあるところでは一時停止をして安全を確かめなければならない。

⑧	人数
知っている	311
知らない	125
不明	12
総計	448



⑨ 携帯電話を利用したり、傘をさしたりすることなどによる片手での運転は不安定になるの  
 としてはならない。

⑨	人数
知っている	399
知らない	39
不明	10
総計	448

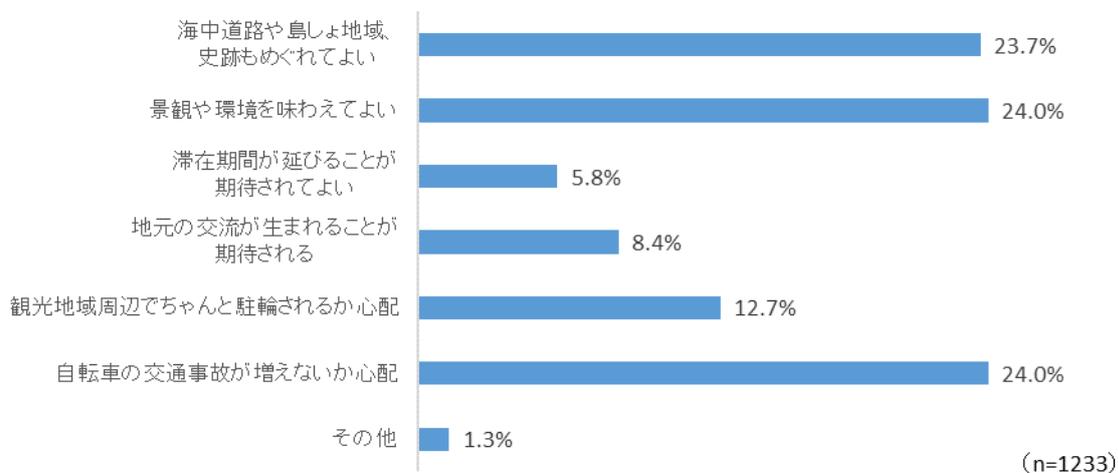


問6. 観光における自転車の利用についてどのようにお考えですか？（複数回答）

ここでは以下の3つの項目がほぼ横並びで、それぞれ「海中道路や島しょ地域、史跡も巡れてよい」23.7% (292人)、「景観や環境を味わえてよい」24.0% (296人)、「自転車の交通事故が増えないか心配」24.0% (296人)となり、その後に「観光地周辺でちゃんと駐輪されるか心配」12.7% (157人)と続く。その他の意見として、「利用ルールを守らない人がいそうで心配」「ごみのポイ捨てが増えないか心配」「盗難が心配」「熱中症が気になる」等があがった。

問6観光における自転車利用	海中道路や島しょ地域、史跡もめぐれてよい	景観や環境を味わえてよい	滞在期間が延びることが期待されてよい	地元の交流が生まれることが期待される	観光地域周辺でちゃんと駐輪されるか心配	自転車の交通事故が増えないか心配	その他	総計
	292	296	72	104	157	296	16	1233

観光における自転車利用



問 7. うるま市において自転車の利用を促進するために必要な取り組みを教えてください。

（複数回答）

うるま市においての必要な取り組みについての回答で最も多かったのが、「安全快適に走行できる道の整備」で22.8%（377人）となり、次いで「公共施設での駐輪場の整備」13.5%（224人）となった。

その他意見では、「購入補助」「シェアサイクル普及」「自転車における交通ルールの徹底」などがあった。

問7必要な取り組み	安全快適に走行できる道の整備	公共施設での駐輪場の整備	電動アシスト自転車の普及	通勤手当の改善	レンタサイクルの普及	自転車マップ
	377	224	132	91	171	135
	自転車利用の啓発活動	自転車に関するイベントの実施	自転車観光周遊ルートの設定	観光客へ自転車を利用した観光のPR	その他	合計
	107	82	186	135	14	1654

### うるま市における自転車利用促進のための取り組み

